

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
個人 A	常時2名, 臨時4名	茨城県笠間市	法人化, 雇用・労務環境の整備	専門家派遣回数 3回

### 相談内容・現状課題

#### ■相談内容

相談者は、将来父親から経営を引き継ぐ予定。経営の法人化による家計と経営の分離、資産や負債等の法人への継承、後継者への経営移譲を実現するだけでなく、農作業の標準化による労働時間の確保、休日の設定等により雇用を確保しやすい法人経営の実現について相談。



#### ■現状課題等

- ・オペレーター要員の確保が必要。
- ・農繁期と農閑期とで区分した労務管理が必要。
- ・水稻における庭先販売・業務販売・飼料用米・契約栽培・作業受託等を行うものの、部門毎の採算管理が不十分。
- ・農業機械等の借入金返済等、資金管理が煩雑。
- ・経営ビジョン・経営戦略・経営方針等が明確文化されていない。

### 支援体勢・改善提案 (問題解決方法)

#### ■支援内容

##### 1 支援チームの編成

中小企業診断士, 社会保険労務士, 普及指導員 計3名

##### 2 支援内容

###### (1) 中小企業診断士による経営診断

- ・相談者の事業計画や中期戦略工程表への助言
- ・税制、社会保障、家計の観点から円滑な法人化移行や事業承継時期を提案
- ・法人組織体制について、家族の中の役割分担、取締役会、株主総会の運営方法を助言
- ・今後、従業員を採用した場合の生産技術の標準化のあり方について助言

###### (2) 社会保険労務士による労務環境整備支援

- ・従業員採用を見据えた人事労務制度の構築支援
- ・社会保険加入の必要性の説明



### 支援の成果・その後の状況

#### ■支援の成果・その後の状況

相談者は農業後継者であり、以前から法人化を検討していたが、法人化後の経営に不安があり躊躇していた。

今回、法人化に至り、法人としての収支計画を策定。収支計画は5事業部門毎に細分化し、不採算部門を明確化。また、既往借入金の統合と資金管理の明確化が図られた。

今後は、技術や経営などの各種研修会を通じて経営者としての資質向上を図る予定。

#### ■コーディネーター所感

相談者は親元就農した当初から、事業承継・法人化の検討を行っていたが、各分野の専門家がチームとなって対応したことで、法人が設立でき、今後、財務諸表等を活用した経営分析により一層の経営発展が期待される。

今後は、伴走支援により相談者の策定した中期戦略工程表・収支計画の見直し等について適宜支援する。